

10 農業支援サービス事業育成対策

【令和4年度予算概算要求額 420（95）百万円】

＜対策のポイント＞

農業現場の課題に対応しつつ、**農業支援サービス事業体の新規参入**、既存事業者による**新たなサービス事業の育成・普及**を加速化するため、**新規事業の立上げ当初のビジネス確立**等を支援します。

＜事業目標＞

農業支援サービスの利用を希望する農業の担い手の8割以上が実際に利用〔令和7年まで〕

＜事業の内容＞

サービス量の伸び率を大幅に引き上げるため、新規事業立上げ当初の**ニーズ確保**や**人材育成**に要する以下の取組を支援します（上限1,500万円）。

- ・ **ビジネス確立のためのニーズ調査**
- ・ **デモ実演等に必要な機械・システムの改修やデータ収集**
- ・ **農業支援サービス事業体が行う人材育成（研修費等）** 等

加えて、農業現場が直面している各課題に対応した以下の**農業支援サービス事業体**へも支援します。

1. 輸出等超低コスト型

海外現地が求める価格ニーズに対応した農産物生産等のため、超低コスト生産に資するサービス事業体を育成

2. みどり戦略型

生産力向上と持続性の両立の実現に資するサービス事業体を育成

3. 高収益作物転換型

主食用米から高収益作物への転換に資するサービス事業体を育成

（関連事業）

強い農業づくり総合支援交付金のうち農業支援サービス事業支援タイプ

19,310（14,164）百万円の内数

農業支援サービス事業の新規事業立上げに必要な、農薬散布用のドローン等、**農業用機械等のリース導入・取得**等を支援します。

＜事業イメージ＞

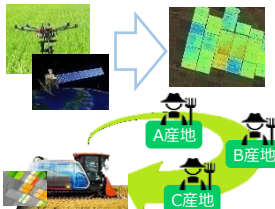
課題

・ 農業現場の厳しい人手不足
（特にピーク時の臨時雇用）

課題

・ 収量・品質の低下
・ スマート農機導入コスト

農業支援サービス事業体



作業期に応じた人材派遣

ドローン防除等の作業受託

データ分析/農機のシェアリング

【事業体の育成・普及上の課題例】

- 繁閑が明確なため、同一産地・品目では**通年でのニーズ確保が困難**。また、複数産地・品目に対応する場合は**高度な人材の育成**が必要
- 一つの作業失敗が収量・品質に大きな影響を及ぼすため、**農家との信頼関係の構築**に時間や労力を要する

本対策で、
・ **ニーズ調査**や**人材育成**
・ **デモ実演に必要な機械・システムの改修**
などの**ソフト経費**を支援

＜事業の流れ＞

国



民間団体等

定額

海外現地が求める
価格帯に応えるなどの
超低コスト生産

主食用米から高収益
作物へ転換するための
環境整備

環境負荷軽減と生産性
向上が両立する
生産システムの実現

【お問い合わせ先】 農産局技術普及課（03-6744-2111）